



新年度を迎えてなお課題山積！

労働組合に結集して1人ひとりができることを！！

「地方公務員の自律的労使関係確立に向けて！」

国家公務員の臨時特例に関する立法は、我々が目指していた「自立的労使関係」国家公務員制度改革関連4法案とのセットでの成立が無念にも切り離され、地方公務員への影響が懸念される事態に至っている。また、年金支給年齢引き上げとの接続を目指した定年延長問題は、雇用確保の観点から任用ではなく希望者全員に対する定年延長が求められるが不透明な状態だ。さらには「社会保障と税の一体改革」における「公的年金一元化」についても、人事院の退職金等の調査の結果、公務が民間を大きく上回り(+13.65%)、その格差が共済年金の職域部分にどう影響するかが重要視されている。

いずれも、消費税率のアップがどのような方向で決着するかが、全ての課題に影響し、政局ともあいまって先行きが見えない状態が続いている。

国と地方あわせ1,000兆円になろうとする借金や毎年1兆円ベースで自然増する社会保障費を考えれば、この先、地方交付税の増は見込めず、むしろ減少していくことは地方自治体の職員である私たちには、明らかにわかることだと思う。

国民の格差は縮まらず、次世代がキャリアを積むどころかワーキングプアやニートであるならば、この国の先行きは極めて暗いものとなるだろう。

今一度、この難局を乗り越えるために地方の仲間が結集をするときではないだろうか！民間の労働組合ではない公務員の労働組合に課せられた使命をはたし、地方からこの国を立て直すために、労働組合に結集しよう。 2012.4 新年度にあたり～執行委員長 和田英浩

地本からお知らせ

○4月1日専従者交替 北口幸恵 次長(妹背牛)から藤田岳民 次長(雨竜)へ
～お疲れ様でした！そして宜しくお願いします！

○「看護職員の離職防止と労働条件改善を求める署名」について3/30 付け道本部より文書が発出されました。

(空知は公立病院が多く、多くが財政難で苦しみ、人件費にしわ寄せが起きています。安定した医療サービス確保のためにも、看護師の充足に取り組みをお願いします。)

※次の地本日程～5月23日野球大会開会式他、 26日財政セミナー です！